令和7年度

幼稚園だより　10月号

文京区立小日向台町幼稚園

「おめでとう」の想いを込めて

園長　　小岩井　聡

猛暑の夏も一段落し、秋風が吹き、季節が変わり始めました。子どもたちの遊び場もようやく戸外へと移りつつあります。

２学期がスタートして間もなく、小日向台町幼稚園　開園５５周年を祝う会を開催しました。多くの保護者の皆様にもご参加いただきました。ありがとうございました。

子どもたちも幼稚園の５５回目の誕生会を楽しみにしていました。当日は、歌や言葉でお祝いの気持ちを表現したり、お祝いのパネルシアターをみんなで見たりして楽しいひと時を過ごしました。その時に感じた、幼稚園を祝う気持ちをしっかりともち続け、今は開園５５周年記念の運動会に取り組んでいます。

幼稚園を祝おうという気持ちは、運動会に取り組む大きな目的になっています。自分たちで運動会を作り上げ、最後まで頑張るという目的だけでなく、その中に、幼稚園をお祝いするという気持ちを込めているのが今年の運動会です。そのことが、子どもたちにとっての大きなモチベーションになっていることも感じます。お祝いの気持ちを表現するために、様々な競技に散りばめて、幼稚園の５５回目の誕生日を祝ってくれています。

その思いをもって、各学年は、園庭、ホール、小学校の体育館と様々な場所を使って、運動会に向けての活動に取り組んでいます。特にリズム表現では、学年毎にお祝いの気持ちを込めつつ、楽しみながら取り組んでいる様子が感じられます。幼稚園へのお祝いの気持ちを一生懸命表そうとする子どもたちの姿は、本当に素敵だなと感じます。

また、かけっこやリレー、団体競技では、自分の力を発揮する、みんなで協力して頑張ることを楽しんでいます。もちろん、勝敗のこだわりもあります。そのために、勝つための作戦であったり、コツだったりをチームの仲間と考える姿もあります。そういった経験も運動会ならではの良い経験になってくれると思います。

ぜひ保護者の皆様も、運動会を通して、子どもたちの「幼稚園を想う気持ち」を感じていただければと思います。そして、お子さんとともに、幼稚園５５周年を改めてお祝いいただけると、子どもたちにとって今年の運動会が、より素敵な運動会になると思います。どうぞよろしくお願いします。